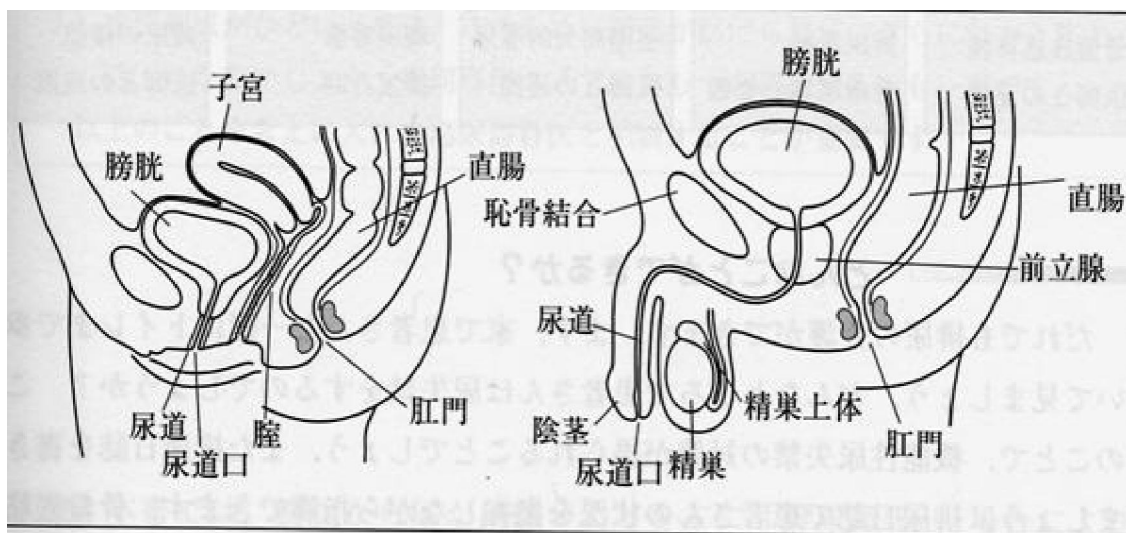


尿がもれるとは---いわゆる尿失禁について

1. おしっこが漏れるとは（尿失禁）。本人の意志とは無関係に尿が漏れてしまうことをいいます。尿失禁は特に中高年の女性に多くみられます。尿失禁にも以下のようなタイプがあります。



イ、 腹圧性尿失禁（ストレス性）尿失禁

お腹に急に力が加わったときに（咳、くしゃみ、重いものを持ったとき）漏れてしまうことをいいます。骨盤内の臓器を支える組織がゆるんで膀胱や子宮の位置が下がったり、尿道の括約機能（尿道をしめる力）が低下していることが原因です。ときどき膀胱機能の異常で頻尿を伴う人もいます。多産婦、やや肥満の人に起こりやすいです。

ロ、 切迫性尿失禁

排尿したくなると我慢できずに漏れてしまう状態です。何らかの原因で無意識のうちに膀胱が勝手に収縮してしまうためです。加齢、脳血管障害、脊髄障害などで我慢しようにもできない状態ときに起こりやすいです。

ハ、 溢流性尿失禁

慢性的に尿が出にくいときにみられる尿失禁です。前立腺肥大症などの膀胱より下流の閉塞や、膀胱収縮力が著しく低下して尿がいつも膀胱に残っているときに、膀胱の圧力が高まり、ついに尿があふれ出てきた状態をいいます。

二、手足が不自由や痴呆などのためトイレに間に合わず漏れてしまう機能性尿失禁などがあります。高齢者では切迫性尿失禁と合併していることが多いです。

ただし見かけは、尿をもらすという現象でも、膀胱炎、膀胱結石、膀胱癌、前立腺肥大症などが背景になっていることがあるので、尿検査で尿の汚れや血尿がないかきちんと確認することと、残尿が多くないかチェックする必要があります。

2. 尿失禁の診断は

まず尿をとってもらって検査します。

尿もれの具合、程度、回数や尿の回数についてよくききます。

尿漏れの状態を把握してもらうため、普段の状態での排尿日誌をつけてもらいます。

腎臓や膀胱の超音波検査をします。膀胱結石、膀胱腫瘍、前立腺肥大など調べます。残尿も調べます。

ふつうに尿が溜まった時の、尿の出具合（勢い、量、時間など）をしらべ、超音波で残尿の程度をしらべます。その他一ふだん飲んでいる薬、便秘の有無について聞きます。そしてどんなタイプの尿失禁か把握します。

3. 尿失禁の診断は

腹圧性尿失禁-肛門をしめる体操、飲み薬、手術療法。

切迫性尿失禁-切迫感を緩和するための薬物療法（飲み薬）

溢流性尿失禁-排尿障害となる疾患を把握して、それに応じた治療。